

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第101回 「次の100回へ！」

こころの相談員 前田 里美

小林先生と交代で書き連ねてきた101回目。初回時に生まれたお子さんが小学3年生という計算ですね。私が朝日中学校に勤務して12年目、朝日小学校に11年目になります。ここまで続けることができたのは、周りの皆様のお陰だと思っています。ありがとうございます。

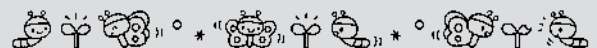
その時々思いを書いたものが、気付くと100回になっていたという感覚です。日々の積み重ねで気付くと子どもは成長している、という皆さんの子育てと同じかもしれません。毎回その時に気になっている事、学校でのお子さん達を見ていて思った事、世間で話題になっている事や関心が高い事を取り上げ、私なりに整理して皆さんにわかりやすい文章をと心掛けてきました。子育てや知育に関する本は数知れず、その中で自分に合ったもの、知りたい情報を探すのは結構大変です。しかも、実践できそうで結果の出そうな自分に合う情報がほしいですね。そんな保護者の方々が何を知りたいのかを考えてきました。

一対一の面談ならばその場で一緒に解決策を練っていけるのですが、この広報を介しての皆さんとの関わりとなると、やはり一方通行の面は否めず限界もあると思います。たとえ一部の方でもふと手に取って読んでもらった時に「そうか。」「なるほど。」と納得したり、「いや違うだろう。」「自分には出来ないな。」と反論を持ってもらうだけでも構いません。私が発信した文章によって何か一瞬でも気に留めてもらい、それがご自分の子育てを振り返ってもらうきっかけになれば幸いです。

子育てに迷うのも悩むのも、子どもを大切に思うからこそ当然のことであり、他の家庭は何事もないように見えるかもしれませんが、内容はそれぞれ違っていても思い悩む事はあるはずです。悩んでそこに立ち止まってしまうのではなく、その時に自分が出来る事をやってみませんか。そうすれば、何か変化が起きるかもしれません。

『他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる。』精神科医エリック・バーンの言葉です。

今後も皆さんに少しでも近づけるよう、役に立つ情報を発信していきたいと思いますので、今後もよろしくお願ひします。



※前田相談員は、小学校、中学校で相談活動を行っています